



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル
 〔会長〕竹尾 白 〔幹事〕橋口 徹 〔会報委員長〕松尾 博之
 〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2014-2015年度

第2494回



平成27年5月8日(金) 点鐘12:30 《晴れ》

- ◆◆国歌斉唱『君が代』
- ◆◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆◆お客様紹介

- ◇(株)アンセルインシュアランス
エーゼント統括部上級コンサルタント
水田 智樹様
- ◇米山奨学生 / シェルバ・チリンさん
- ◇元米山奨学生 / トウルムハドゥール・ウーレンさん

◆◆会長挨拶及び報告 竹尾 白会長

5月、6月と先が見えてきましたので、少し気が楽になってきました。

<理事・委員長会議報告>

- ◇次々年度ガバナー補佐ノミニー選出の件
金親 博榮会員に決定
- ◇クラブ細則一部変更と年会費払込内訳変更の件
伊藤 和夫会長エレクトより報告
- ◇新会員委員会所属の件
瀧川 誠会員⇒親睦活動委員会に決定
- ◇退会届の件
佐々木 豊会員⇒承認される
- ◇クラブ運営資金会計報告
会計が不在のため、次回にて
- ◇RI会長から、ネパール地震に関してのメールが届きました。
「4月25日にネパールでマグネチュード7.8の大地震が発生し、800万人の壊滅的な被害を受けました。この大地震により、亡くなられた方々の遺族を中心にお悔やみを申し上げるとともに被

災者の方々に心よりお見舞いを申し上げます・・・。」

◆◆米山奨学生紹介 鈴木 美津江カウンセラー

前回、チリンさんをご紹介して直ぐにこのような大きな地震が起きてしまいました。地区でも義捐金を募るということですが、当クラブでもチリンさんに何か出来ることをしたいと思いますので、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

シェルバ・チリンさん

皆さん、はじめまして。ネパールから参りましたセルバ・チリンと申します。現在、敬愛大学国際学部国際学



科3年で学んでいます。↑竹尾会長 ↑チリンさん

先日、ネパールで大きな地震が起きて、大勢の方が亡くなり、家もなくなったりしました。

私の家族も命は大丈夫でしたが、家がなくなりました。ロータリーにお世話になることが決まった途端に悲しいことが起こってしまいました。

皆さんとこれから協力しながら日本のことを学びながら私の国のことも考えながら、勉強していきたいと思っています。よろしくお祈りします。

◆◆委員会報告

<伊藤 和夫会長エレクトより>

- ◇理事会で承認されたクラブ細則一部変更を皆さんにお諮りします。昨年12月に「広報公共イメージ委員会」と変更しましたが、地区でその前に「IT」をつけて「IT広報公共イメージ委員会」となりましたので、当クラブでもそのように変更したいと思います。よろしいでしょうか。⇒満場一致で承認される。
- ◇次年度クラブ研修リーダーとして、次年度直前会長である竹尾白会員を登録しました。
- ◇年会費について、従前は上期・下期の会費と懇親会費・ニコニコボックスフィーとして請求していましたが、ガバナー補佐から、ニコニコボック

スは、別会計とし、銀行口座もわけて、懇親会や親睦活動には使用しないで奉仕活動に使うようにとのご指導を受けました。

依って、年会費徴収の内訳を変更することに理事会で承認されました。

<特別会員増強委員会> (北原 俊彦委員長)

5月15日開催予定の特別会員増強委員会は、5月29日(金)午前11時30分に変更をお願いします。私の年度の最後です。紹介カードを10枚程度は出せるようよろしくお願いします。

<親睦活動委員会> (五十嵐 博章委員長)

5月24・25日の親睦旅行は切符の関係で、新幹線が東京駅発午前8時36分に変更となりました。そこで、銀の鈴への**集合時間は7時45分**に変更となります。

◆◆ 幹事報告 橋口 徹幹事

◇5月15日(金)の例会は、1階ラウンジ「トレビ」で開催します。(点鐘12:30)

◆◆ 5月度会員誕生日祝い・結婚記念日祝い

<誕生日祝い>

野城友三会員、水野浩利会員、寺澤一良会員、橋口徹会員、塩谷邦昭会員

<結婚記念日祝い>

竹尾白会員、三宅廣会員、杉本峰康会員、劉亜斌会員、末吉淳子会員、五十嵐博章会員

◆◆ ニコニコボックス報告

<竹尾 白会長・橋口 徹幹事>

真夏前の不規則な天候に体調を崩さず、24日・25日の「職場訪問及び親睦旅行」には、元気に皆様が参加されることを祈っています。

本日のニコニコボックス	2,000円	累計	754,354円
金の箱	882円	累計	25,092円

◆◆ 出席報告 (会員数53名)

出席者数36	欠席者数17	ビジター 3	修正出席率 73.58%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#)にご利用下さい。

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	5/19	センシティブ「東天紅」
千葉幕張RC	火	5/19	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	5/20	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水		ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	5/21	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	5/21・5/28	京成ホテルミラマーレ

会員ミニ卓話

土屋 武次会員



私は、当クラブで2番目の年長者でございます。国友さんが93でしたね、確か。私が今91歳。

これをちょうど15分間で話さなきゃいけない。何十分の一かな…。普通に話したら明日の夜中になります。今日は15分

です。というのは、ロータリーの卓話というのは1時25分には終わらなければなりません。なぜかというと、25分過ぎてからまだやっていると、皆さんそわそわしております。時間を守るロータリーでございますので、やむを得ないことだと私は感じております。

今年に入りましてすぐの1月13日、全く不甲斐なくもインフルエンザを患いました。ちょうどその13日は、私が歴代会長の会長会、それから幹事の方も出席するというので、13日は会合を持っていたわけです。でも、どうも体調が悪いので病院へ行きました。なんだか鼻の中に棒みたいなものを入れられました。「これは駄目だ」と、先生が。「でも、先生、ちょっと1時間が2時間くらいなら」と、私。「あなたはいいかもかもしれないが、周りの方は迷惑なんですよ」。これはなるほど…。そういった極めて病気と言いますか認識の浅い人間でございます。それが91年間生きてる。不思議でございますよ。生きようっていったって生きられないのが人間の命でございます。

ところが、私の経験では、89歳いっぱいまでは歳のことは考えませんでした。すなわちまた何歳くらいまで生きるんだとか、健康はどうだとかそういうことを一切考えずに正直90歳になりましたら考えるようになりました。なぜか。それは自分が弱くなっているんです。何歳くらいまで生きたいとか生きるだろうとか駄目だろうとか。これは、みんな人間は命が一番怖いんです。生きることが。イコール死ぬことが怖いんです。しかし、表面はそんなことは言ってもらえない。しかし、中には本当に生きることが嫌だと命を絶つ人もいます。

ただ、私の場合にはちょうど戦争中に生まれ、実際生まれたのは大正13年でございますが、満州事変が昭和6年、私が小学校に入ったのが昭和5年ですが、そんなことで戦争っ子でございますよね。国家というのは我々の生命財産を守るものです。それが生まれながらにして国に命を捧げなきゃならん。言い方は悪いかもしれませんが捧げなきゃならん。なぜか、人間は幸せに死ぬまで一生暮らしたいものです。それが戦争やら紛争やらいろんなことで命を取られてしまう。自分が捧げるというのは嘘です。

取られてしまうんです。死ぬということとは。

これはですね、今、日本中どこへ行っても戦争はいやだとか、もう戦争を二度としてはならないとか、ご立派なことを皆さん方言いますが、私は極端に走っているかもしれませんが、この世の中から戦争は消えませんか。戦争イコール紛争と言ってもいいのですが、消えませんか。無理です。じゃあ人間がまだ知恵が足りないとかいろんなこと非難されるかもしれませんが、まず私は率直に言って戦争をやめよう、なくそう、してはならない、これは理想です。生きるものは全てが争いです。争っています。ネズミにしてもノミにしても、みんな己が生きるために猛烈に一生懸命体を費やしています。というようなのが実情なのではないでしょうかと、私はそう思っています。極端ですけど。

しかし、それでは人生はつまらないという考えも一つでございませう。人生は自分から作り、そして周囲と一緒に仲良くして、いわゆる流行り言葉じゃありませんが、平和、平和が一番いいのですがそうはいかない。

もう一つは、厳しさだけを求めるのでは寂しすぎるのではないかとというような考え方もあると思えますが、さてその辺はいかがなものでしょうか。

そこで、今日は私の生い立ちを述べたいと思えます。東京の麻布で生まれまして芝公園の中にある増上寺というお寺がございませうが、その裏が東京タワー。あの辺でよく遊んだものです。私は5人兄弟の末っ子でございまして、そんなにやんちゃでもなかったのですけれどまあまあ普通に成長しまして、先ほど言いましたように昭和の5年に小学校に入り、そして終戦まで国に体をとられ、そして生きて参りました。

私が靖国神社へ行ったときに年表があつてコピーしてきたものがあるんですが、こうやってみますと不思議なもので、戦争、戦争でもう本当に。

まず私が小学校へ入った翌年昭和6年、満州事変というのが勃発しました。戦争ですよ。ではなぜ事変なんだということですが、これは宣戦布告をしていないから事変というというのが通説です。そして昭和7年に満州国建国の宣言。そこで昭和8年に有名な国際連盟を脱退した。これがいずれ太平洋戦争の遠因ではないかというふうによく言われています。私がこの目で見たのは、昭和11年2月26日に二・二六事件がありました。東京の麻布の一步兵一連隊と三連隊の数名の将校が立ちまして、時の総理大臣大蔵大臣を全部狙ったわけですよ。大蔵大臣は高橋是清、有名な方です。ひげのおっちゃんでございますが亡くなりました。総理大臣はたまたま甥っ子さんだか誰かがいて免れた。そのときに私は小学校6年生、学校へ行きましたら本日休校という札がぶら下がっていました。何だろうと。その頃は情報手段としてはラジオだけです。テレビは無いです。状況は全然分かりませう。そして家に戻りましたら私の兄、13違うのですが、昔の文部省まで行って様

子を見てきたのです。そうしましたら陸戦隊が機関銃を前に並んでいた。もちろん怒られて引き返してきました。そんな状態でした。

それでいわゆる例の昭和16年真珠湾攻撃、そこで宣戦が布告されて東京の大空襲が昭和20年にありました。たまたま私は運が良いのか、どういう言い方をしたらよいか分かりませうが、戦地には行っていなかったのです。私は昭和19年兵です。ですからちょうど19年から20年までは軍隊生活でございました。

人間はいろいろな経験をするものですね。今は戦後70年。その方は軍隊生活、一部の方はなされたでしょうけれど。これも自分が求めて軍隊生活に入ったわけではない。そういう運命ですね。そうしてみると私たちの年配の者は、お前たちはいつ死ぬか分からないんだという状態のもとに20年間を過ごしてきたわけですよ。結果論ですけど。それで不幸な方は戦地で亡くなり、いろんな亡くなり方をしました。あるいは内地にいても空襲、そりゃあ東京の空襲はものすごいものでした。たまたまの話、これは私が見たのではないですが焼夷弾が頭の真上に落っこちて頭が破裂して倒れた。そういう方を見た方もおります。私の軍隊ではみな、塹壕を掘った。自分が入る塹壕を。その上に爆弾が落ちてきて死んでしまった。こういう珍しい、したくても出来ないような問題がしばしばあったわけですよ。

もう25分になりました。これから本題に入ろうと思ったのに・・・。始めからこれで終わるとは思わなかったですね。話にならないのですが時間を恨んではいけません。何言ってるんだ、で結構でございませう。

歳は自然に来る。死は自然に迎えに来る。それを知ったのは90歳からでございませう。なぜかという89歳までは人に会っておいくつですか？と聞かれると、いや89歳になりました、ああ、そうすかと言うので済んだのです。90歳に入った途端、おいくつですか？90歳ですよ！と言うと、いやあそれは長生きですね、お元気ですねと。その言葉がすぐ跳ね返ってくる。その跳ね返りが自分自信の歳を自覚を強くして、自分自身が老人にしている。自分で自分を老人にしている。

歳は忘れた方がいいと思えます。

第2495回例会

日 時→ 平成27年5月15日(金) 点鐘12:30

卓 話→ 『株式市場の見通し』

卓話者→ 大和証券(株)千葉支店
支店長 赤松 良雄様

第2496回例会

≪職場訪問及び親睦旅行≫

日 時→ 平成27年5月24日(日)・25日(月)

行 先→ 金沢方面

<会報当番：石井 慎一会員>